

SGLT2 阻害薬の心不全入院を減らす効果について

Harvard 大学医学部の Elisabetta Patorno 氏は、新たに 2 型糖尿病の治療を開始した地域住民 20 万人以上を登録し、SGLT2 阻害薬（カナグリフロジン）と、DPP-4 阻害薬、GLP-1 受容体作動薬、スルホニル尿素（SU 薬）の心血管疾患（CVD）予防効果を比較するコホート研究を行いました。



その結果、心筋梗塞や脳卒中には差が見られませんでしたでしたが、カナグリフロジンは心不全による入院を減らしていたと報告し、研究結果をBMJ誌電子版に掲載しました。

